小学校国語科　岩見沢市立教育研究所

キーワード　毎時間の振り返りによる「主体的に学習に取り組む態度」の評価

内容のまとまり

　第１学年及び第２学年

〔知識及び技能〕(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

(3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力，判断力，表現力等〕「Ｃ読むこと」

単元名

　ばめんのようすをくらべてよもう

　「スイミー」

第１学年　Ｃ読むこと

１　単元の目標

(1) 読書に親しみ，色々な本があることを知ることができる。

(2) 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像することができる。

(3) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。

(4) 言葉がもつよさを感じるとともに，楽しんで読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

２　単元で取り上げる言語活動

「おはなしどうぶつえん」を作り，すきな場面を紹介し合う。

（関連：〔思考力・判断力・表現力等〕Ｃ(2)ウ）

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①読書に親しみ，色々な本があることを知っている。（(3)エ） | ①「読むこと」において，場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像している。（Ｃ(1)エ）  ②「読むこと」において，文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（Ｃ(1)カ） | ①進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し，学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。  ②積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し，今までの活動を生かして本を紹介しようとしている。 |

４　指導と評価の計画（全10時間）

「・：指導に生かす評価を行う代表的な場面」，「○：全員の学習状況を記録に残す評価を行う場面」

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 評価規準（評価方法） | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・  表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| １ | 単元とびらを読み，単元の学習の見通しを持つ。スイミーにどんな出来事があったのか読んで疑問を持つ。 | ・知①（行動観察，発言分析） | ・思①（行動観察，記述・発言分析） |  |
| ２ | 場面分けをする。疑問を解決するために，場面の様子に気を付けながら読む。 |  | ・思①②（行動観察，記述・発言分析） | ○態①（行動観察，記述分析） |
| ３ | スイミーは始めと終わりで何が変わったのか比較をする。展開を確かめる。 |  |
| ４  本時 | 場面を想像しながら読み，５つの場面で大事な場面を紹介する文を書く。 |  | ・思①（行動観察，記述・発言分析） |
| ５ | 「おはなしどうぶつえん」を作るという学習内容をつかみ，学習の見通しを持つ。 | ・知①（行動観察） |  |  |
| ６  ７ | 動物の出てくる本を読み，紹介するために効果的なメモやカードを作る。 | ○知①（行動観察，カード） | ・思①②（行動観察） | ○態②（行動観察，記述・発言分析） |
| ８  ９ | 本を紹介し合い，本を読み合う。  　単元の学習の振り返りをする。 | ○思①②（行動観察） |
| 10 | 学習内容の定着を確認する。（評価テスト） |  | ○思①②（ペーパーテスト） |  |

５　本時案（４／10）

(1) 本時の目標

　　　自分なりの理由を考えて，大事な場面を伝え合うことが出来る。

(2) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○学習活動　・児童の反応 | ◇留意点　☆評価 |
| 導入 | ○大事な場面を音読し，ペアによる聞き合いを行う。  ○前時までの学習内容を振り返るとともに，本時の課題を整理し，解決への意欲をもつ（場面はいくつか，作った見出しを振り返る）。  １場面～スイミーと兄弟の楽しいくらし  ２場面～大きな魚に食べられた兄弟  ３場面～だんだん元気になるスイミー  ４場面～新しい仲間との出会い  ５場面～大きな魚を追い出した  ○単元のゴールを思い出す。  「おはなしどうぶつえん」で大事な場面を紹介する。  『スイミー』の良さを，みんなで確かめよう。  ○絵の選び方を確認する。  　・大事な場面がいい。  　・気に入ったところがいい。  　・絵がきれいなところがいい。 | ◇毎時間，繰り返し音読をすることが内容理解・音読技術の向上につながる。その際に，上手な音読の基準を理解させた上でペアで聞き合い，どこが上手か，もっとよくなるにはどうすれば良いかを伝え合う。  ◇教師による紹介カードの例を提示する。  ◇児童にとって難しい言葉は，理解できるように説明・指導する。  ◇学習課題は，必要感を持たせるために児童から出された意見を用いるなど，教師と児童が共同で設定する。 |
| 展開 | ○一番大事な場面を選び，理由を２つ以上書く。  ・私は４だと思います。なぜなら，大きな魚を追い出すために，いっぱい練習をしたからです。もう一つの理由は，今まで兄弟が死んで悲しんでいたけれど，新しい兄弟を見つけて嬉しかった場面だからです。  ○全体で交流・検討する。  　似ている意見や違う意見を黒板に書き出し，分類する。  　・スイミーの勇気  　・力を合わせること  　・よく考えること | ☆思①場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像している。（行動観察，記述・発言分析）  ◇選択肢を決め，立場を明確にして理由を考えさせることで，全員参加を保障する。  ◇発表する児童は，ノートを実物投影機で示しながら発表させる。  ◇自分の意見が持てない子は，友達の意見を参考にして良いことにする。  ◇誰の考えに近いか，誰の考えが深いかを考えながら聞き合う。 |
| 終末 | ○学習の振り返りを書く。  　観点を明確にする。  　・～が大切だと思いました。＜学び＞  　・～が出来るようになりました。＜成長＞  　・～をもっとやってみたいです。＜繋ぐ＞  　・○○さんの△△がわかりやすかったです。＜仲間＞  ○発表・交流する。 | ☆態①進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し，学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。  （行動観察，記述分析） |

６　「主体的に学習に取り組む態度」の評価の実際

児童には，毎時間授業の最後に振り返りを記述させる。ノートに記述したものは，iPadで撮影し，ロイロノートの提出機能を利用して提出させた。書いた振り返りを全員提出させておくことで，単元を通じて児童一人ひとりの考えの広がりや深まりを分析することが出来る。

毎時間の振り返りを評価資料とすることから，主体的に学習に取り組む態度の①を第２時～第４時，②を第６時～第９時に渡って見取る。

○　第４時における記述・発表内容の評価

　　　行動観察や記述・発表の分析を基に評価する場合には，【表】のように，具体的な学習状況を明確にしておく。

　　　具体的には，学習の振り返りの記述や交流の様子からどの程度考えを深めているかを見取る。

【表】ノートの記述内容を評価する際の児童の学習状況（第４時）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の学習状況 | 具体的な記述例 |
| 評価規準 | 進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し，学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。 | |
| 「おおむね満足できる」状況 | １時間の授業を振り返り，自分の学びや感想を記述できている。 | 例：今日は大事な場面を選んで，スイミーの良いところを考えました。５の場面でスイミーは泳ぐ練習をして食べられなくなったので，良かったです。大きな魚になったところがかっこよかったです。 |
| 「十分満足できる状況」 | １時間の授業を振り返り，自分の学びや感想を記述できているとともに，学びを次の学習に生かす意欲や他者との関わりについて触れている。 | 例：今日の学習で，スイミーの良いところについて考えました。私は最初力を合わせれば何でも出来るから，力を合わせる大事さにしました。○○さんは，よく考えたからスイミーが魚を追い出せたと言っていて，それもそうだと思いました。もっとレオ＝レオニさんが書いた本を読んでみたいと思ったし，「おはなしどうぶつえん」作りもがんばりたいです。 |

参考文献

国立教育政策研究所「「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料小学校国語」，2020年